

4種リーグU12
(通称 全日リーグ)

| | |
|---------------|---|
| 大会名 | 4種リーグU12(通称 全日リーグ) |
| 主催 | 一般社団法人 大阪府サッカー協会 |
| 主管 | 一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会 |
| 特別協賛 | |
| 協賛 | |
| 参加費 | 25,000円×エントリーチーム数(参加費15,000円 集い費10,000円) 集い時期 9月末予定 |
| 開催期間 | 4月エントリー 5月～10月末頃 |
| 代表者会議 | 参加チームはリーグ代表者会議を受けること(日程は後日HPに記載します。) |
| 指導者講習会 | 参加チームはリーグ指導者研修会を受けること(日程は後日HPに記載します。) |
| 途中参加資格 | リーグ開催してからの途中参加は認められない |
| 競技規則 | (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。 |
| エントリー | エントリー方法(別紙参照 HP記載) エントリーサイトの入力と大会参加費の振り込みを締切までに行うこと |
| 競技方法 | 試合時間は40分(20分-5分-20分)または30分(15分-5分-15分)とする リーグ戦の勝点 勝ち⇒3 引き分け⇒1 負け⇒0 順位は勝点・当該対戦結果・得失点・総得点・抽選の順で決定する 20分ハーフの場合は原則土日で2試合。3連休の場合は3試合を認める。15分ハーフは土日で3試合、3連休は4試合を認める (ただし、4種委員会がやむを得ないと認めた場合はその限りではない) 20分ハーフの3連休の試合は1日で3試合は不可とする。15分ハーフの場合3連休の試合1日で4試合は不可とする。 |
| 棄権(書類不備も含む) | 棄権が生じた際のスコアは0-5とする。ただし、これにより得失点などで順位に影響を及ぼす場合、 棄権チームとのスコアは全て削除する |
| 試合の成立 | 試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。 |
| 複数エントリー | 複数エントリーを認める。複数エントリーチームの2ndから1stへの選手移籍は1回認めるが、その期間は各地区で決定する。(1stから2ndへの移籍は認めない) 複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年は4人以上いることとする。また、その他の学年は最大6名まで入れることが出来る。 1st2nd両方に全日中央大会への参加資格を有することとする 複数エントリー用のメンバー表を2部を各地区代表者会議の際に用意。委員のサインを受け複写して使用すること。 |
| リーグ試合数 | リーグ試合数最低各チーム16試合とし、またこの試合数を大幅に上回ることも無いように努める。 |
| 参加資格 | 6年生以下の選手。 移籍に関しては同一大会に参加している選手の同一大会の出場は不可とする。(全日リーグと全日中央大会は同一大会とみなす)ただし、転居などの理由で4種委員長の認めた選手に限り出場は可とする。 |
| ゾーン(地区) | 8つの地区で行う (豊能 三島 北河内 中河内 大阪市 南河内 泉北 泉南) |
| 部別 | なし |
| 各大会への出場権(リンク) | リーグ戦の試合結果を全日大会中央大会または全日大会地区予選に反映する。(1順位だけでなく全てのリーグ戦の結果を反映する) |
| メンバーチェック | 試合開始30分前までに本部で【選手証】【メンバー表】【申し送り】のチェックを行う。【選手証】とは電子登録証カラーコピーのこと。携帯電話などの画面での確認は不可とする。 |
| 審判 | 各地区に委ねる。(ただし人数は1人制または3人制で有資格者が行うこと) 中央大会は3人制(各チーム割り当てに従って行う) ユース審判員に関しては協会派遣の場合及び、アクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員の中央大会までの副審と4審を認める。 正規の審判服を着用すること(アンダーシャツ・アンダーパンツは同色のみ認める) 審判証(写真貼付き)、ワッペンの不携帯で審判を行うことはできない(カラー電子登録証可)携帯電話などの画面での確認を認める(審判証の画像など) |
| 選手交代 | ベンチ入りメンバーは指導者3名と登録選手のみ、交代の人数制限なし ベンチ入りメンバーの中で人数制限なく自由な交代ができる(主審の許可を得ず交代ゾーンから行う) GKが交代する場合は主審の許可を得る |
| 警告 | 大会期間中、警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。地区予選での警告は中央大会に持ち越さない。 |
| 退場 | 退場を命ぜられた選手は次の1試合に出場できない。その処分は規律委員会にて決定する。その競技者のチームは、試合に出場する競技者を補充することができる。 地区大会での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な反則による退場に関してはその限りではない。(1発レッド) |
| 会場責任者の役割 | 会場設営、備品の準備(本部、チームベンチ) 試合終了後、速やかにブロック長へ「試合結果」をメールにて提出する。試合会場で起きた重要事項があればそれもブロック長へ連絡すること。(当日の20:00まで) 試合会場の日程を円滑に進めるために、路上駐車やマナーの良くない応援をする方がいた場合、当該チームの当日責任者へ勧告し、是正させることができる。 チームの当日責任者からマナー違反の保護者へ改善を早急に行ってもらうこと。出来ない場合は規律委員会へ報告すること。 |
| アンダーシャツ | 上着の袖の下から見える場合袖の主たる色と同色であることとする。 |
| アンダーパンツ | パンツ下から見える場合パンツの主たる色または裾と同色であること、またパンツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。 |
| 背番号・胸番号 | 胸番号・背番号のないユニフォームでの出場は認めない。 |
| ユニフォーム | FPは正・副2セット必要(副ユニフォームのビブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) GKは正・副ともにFPと別色の2セット必要(GKユニフォームのビブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ビブスや別色のウェアで対応すること) GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくてもよい。(正副の番号は一致しなくてもよい) アンクルガード、テーピング等をストッキングの上に着用する場合は着用するストッキングの部分と同色のみ認める |
| 落雷、荒天等による再試合 | 落雷、荒天等により試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は会場責任者が行う 試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。 再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する 再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい 中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる |
| その他 | 負傷者については各チームにて対応し、主催者、主管者及び会場責任者は一切の責任を負わない 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること 関西TCリーグ等のトレセンマッチデー・トレセン活動日に関してブロック長は試合を組む際配慮すること。また該当チームの代表者は事前にブロック長へ連絡すること。 リーグ戦期間内の最終月に日程が終了していない場合、リーグ戦最終月にブロック長が参加希望日に関わらず日程を組むことができる。 本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする |
| 参加可能日 | パス日や参加可能日の日数は各地区で決定すること。 |
| グラウンド提供日 | グラウンド提供がないとリーグ運営が成り立ちません、積極的なグラウンド提供をお願いします。 |

第42回全日本少年サッカー大会 大阪府大会 中央大会 レギュレーション

| | |
|-------------|---|
| 大会名 | 第42回全日本少年サッカー大会 大阪府大会 中央大会 |
| 主催 | 公益財団法人 日本サッカー協会 公益財団法人 日本体育協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社 一般社団法人大阪府サッカー協会 |
| 都道府県大会特別協賛社 | YKK 花王 |
| 都道府県大会協賛社 | 日本マクドナルド 日清製粉グループ 日清オイリオグループ ゼビオ |
| 開催協力 | モルテン |
| 中央大会日程 | 11/24 11/25 12/1 予定 |
| 中央大会会場 | 未定 |
| 中央大会参加費 | 1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。 |
| 中央大会抽選会 | 未定 |
| 組み合わせ抽選 | 代理抽選を認めます(代理抽選を希望の場合は事前連絡必要) |
| 中央大会競技方法 | トーナメント方式と上位4チームによるリーグ戦で実施。学校行事等で時間変更希望する場合は以下の場合のみ認める。 ひとつの学校の生徒で構成されているチームでその学校の行事で時間変更を希望している場合、学校側から生徒宛に配布されているプリントを抽選会に持参すること。 抽選会の際に委員の許可が出た場合認める。(たくさんのチームの希望が出た場合認められない場合があります) |
| 中央大会出場チーム | 32チーム (全日リーグの結果を反映させた形で地区代表を決定) |
| 上位大会 | 大阪府大会上位2チームとその選手は全日大会本大会への出場権を有する |
| 競技時間 | 試合時間は40分(20分-5分-20分)とする |
| 競技人数 | 8名 (試合開始時に6名以上で試合成立とする) 一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。 |
| 参加資格 | 移籍に関しては同一大会に参加している選手の同一大会の出場は認めない。ただし、転居などの理由で4種委員長の認めた選手に限り出場は認める。(全日リーグと中央大会は同一大会とみなす) |
| 競技規則 | (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。 |
| 警告 | 大会期間中(中央大会)、警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。 |
| 退場 | 退場を命じられた選手は最低次の1順目の1試合を出場停止とする。但し規律委員会にかかる場合は規律委員会の決定に従う。 |
| メンバーチェック | 試合開始30分前までに本部で【選手証(カラーコピー可、電子登録証カラーコピー可、web画面コピー不可)】【メンバー表】【申し送り】のチェックを行う |
| アンダーシャツ | 上着の袖の下から見える場合袖の主たる色と同色であることとする。 |
| アンダーパンツ | パンツ下から見える場合パンツの主たる色または裾と同色であること、またパンツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。 |
| 背番号・胸番号 | 胸番号・背番号のないユニフォームでの出場は認めない。 |
| ユニフォーム | FPは正・副2セット必要(副ユニフォームのピブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) GKは正・副ともにFPと別色の2セット必要(GKユニフォームのピブスは認めない、正・副ともに背番号、胸番号が必要) ベンチ選手と指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ピブスや別色のウェアで対応すること) GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくてもよい。(正副の番号は一致しなくてもよい) アンクルガード、テーピング等をストッキングの上に着用する場合は着用するストッキングの部分と同色のみ認める |
| 選手交代 | ベンチ入りメンバーは指導者3名と登録選手のみ、交代の人数制限なし ベンチ入りメンバーの中で人数制限なく自由な交代ができる(主審の許可を得ず交代ゾーンから行う) GKが交代する場合は主審の許可を得る |
| 審判 | 主審は3級以上、副審、4審は4級以上で行うこととする。 ユース審判員に関しては協会派遣の場合及び、アクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審、副審、4審を認める。通常のユース審判員は認めない。 正規の審判服を着用すること(アンダーシャツ・アンダーパンツは同色のみ認める) 審判証(写真貼付き)、ワッペンの不携帯で審判を行うことはできない(電子登録証のカラーコピー可) |
| PK方式 | 3人制で行う(両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。) |
| 延長戦 | 準決勝、決勝の3試合に限り5分ハーフの延長を実施する。それでも決着がつかない場合はPK戦とする。 |
| その他 | 負傷者については各チームにて対応し、主催者、主管者及び会場責任者は一切の責任を負わない 中央大会日程のパス日は従来通り出来ないこととする。 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること 本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする |